

案内

第1回日本在宅看護学会学術集会

日時：12月11日(日)10:00～17:00

会場：首都大学東京 荒川キャンパス(東京都荒川区)

メインテーマ：安心をつむぐ在宅看護

プログラム：基調講演「未来をつむぐ在宅看護」川村佐和子(聖隷クリストファー大学大学院)／教育講演「在宅看護に活かすコミットメント」大藪毅(慶應義塾大学大学院経営管理研究所)／シンポジウム「地域に根ざす在宅看護」松木満里子(アコモ Care Service)、鎌田久美子(福岡県保健医療介護部医療指導課)、萩原正子(オフィス萩原代表理事)

参加費：

(事前登録)会員 6000 円、非会員 7000 円

(当日参加)会員 8000 円、非会員 9000 円

申し込み：申込書をホームページよりダウンロードし、電子メールまたは FAX にて 11 月 30 日(水)までに

問い合わせ：事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-4-1 倉田ビル 201

TEL & FAX：03-3812-8355

E-mail：info@zaitakukango.com

URL：http://www.zaitakukango.com/shukai_1st/index_1st.html

案内

平成 24 年医療の質・安全学会 医療安全管理者養成研修会

実施日：(6日間1コース)

2012年1月12日(木)・13日(金)・14日(土)

2月9日(木)・10日(金)・11日(土)

会場：有明フロンティアビル A棟4階会議室(予定)(東京都江東区)

プログラム：

1月12日

「日本における医療安全の取り組みについて・学会研修会参加者へ期待すること」渡辺真俊(前厚労省医政局安全推進室長)／「医療安全管理に必要な基本知識」嶋森好子(学会理事・東京都看護協会)／「事故原因としてのヒューマンエラーとその防止について考える」河野龍太郎(自治医科大学医療安全学・附属病院医療安全対策部兼任・シミュレーションセンター室長)

1月13日

「分析手法Ⅰ・日本医療機能評価機構の事故防止事業と産科医療保障制度(量的分析の意義)」後信(日本医療機能評価機構医療安全対策事業部長)／「医療紛争対応と法制度」児玉安司(東京大学特任教授・三宅坂総合法律事務所)

1月14日

「分析手法Ⅱ・個別事例の分析について(グループワーク)」石川雅彦(区立台東病院総合診療部・東京医科大学医療安全管理学講座教授)

2月9日

「医療安全体制の整備と医療安全研修の企画・運営(グループワーク)」寺井美峰子(聖路加国際病院医療安全管理者)、杉山良子(武蔵野赤十字病院医療安全管理者)

2月10日

「事故発生時の対応」矢野真(武蔵野赤十字病院呼吸器外科部長・医療安全推進室長)／パネルディスカッション「医療安全管理の実践報告」佐藤景二(静岡市立静岡病院医療機器安全管理責任者・臨床工学技士)、古田康之(亀田総合病院薬剤部)、團寛子(大阪大学医学部附属病院安全管理者・看護師)、荒井有美(北里大学病院医療安全管理者・看護師／薬剤師)

2月11日

「医療安全を確保する業務プロセスの改善手法について」棟近雅彦(早稲田大学理工学部教授)／「患者(事故被害者を含む)や市民と創る医療安全」勝村久司(大阪府立高校教員・元中医協委員)／「医療安全管理者の継続学習について」佐々木久美子(野村病院看護部長)、山元恵子(富山福祉短期大学看護学科教授)

定員：100名

参加費：会員 6 万円、非会員 8 万円

申し込み：ホームページ(http://www.procomu.jp/qsh-seminar/)より 12 月 20 日(火)までに、同時に受講料をゆうちょ銀行 00130-0-708230・「Procom 医療安全管理者養成研修会」まで振込みのこと(会員は会員番号を、非会員は「非会員・氏名」を記入)

問い合わせ：運営担当

〒135-0063 東京都江東区有明 3-6-11

TFT ビル東館 9F

TEL：03-5520-8821

FAX：03-5520-8820

E-mail：qshseminar@procomu.jp